

ハートフル映画&講演会

入場
無料

参加申込不要 字幕、手話通訳、要約筆記あり

2018年に動員20万人を超える大ヒット
日本中を深い感動で包んだあの物語には続きがあった!

アルツハイマー病を患った母を
98歳になった父が懸命に介護する日々。
そんな中、新型コロナウイルスの波が押し寄せて
事態は急変する。

監督・撮影・語り
& ひとり娘
信友直子

ぼけますから、
よろしくお願ひします。
～おかえりお母さん～

母が認知症になっても、父は変わらぬ愛を注ぐ
結婚生活60年を過ぎた90代夫婦の生きる道

2022年/日本ドキュメンタリー101分/ビスタ20ch 監督・撮影・語り：信友直子 プロデューサー：高橋 大島 船山 制作プロデューサー：稲葉友紀子
編集：目見田健 撮影：南幸男、河合祥久 音楽効果：金田野子 ライン編集：油田 監修：宮本一 製作プロダクション：スタッフラビ
制作：フジテレビ ネットワーク 関西テレビ 信友家 配信・宣伝：アンパランド © 2022「ぼけますから、よろしくお願ひします。～おかえりお母さん～」制作委員会 www.bokemosu.com

©2022「ぼけますから、よろしくお願ひします。～おかえりお母さん～」制作委員会

映画上映 ぼけますから、
よろしくお願ひします。
～おかえりお母さん～

2018年に動員20万人を超える大ヒット作品の続編

東京で働くひとり娘の「私」(監督・信友直子)は、広島県呉市に暮らす90代の両親を1作目完成後も撮り続けた。2018年、母の認知症はさらに進行し、ついに脳梗塞を発症、入院生活が始まる。外出時には手押し車が欠かせない父は毎日1時間かけて母に面会するため足を運ぶ。そんな中、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大。病院の面会すら困難な状況が訪れるが、それでも決してあきらめず奮闘する父の姿は娘に美しく映るのだった――

人が生きて老いてゆく先には、必ず死と別れがあります。でも人生の最終章は悲しいだけではありません。お互いを思いやり、かわす笑顔もありました。今回もまた、誰もが自分のこととして感じてもらえる物語になったと思います。信友直子(監督・撮影・ひとり娘)



講演会 ～認知症の母が
命懸けで教えてくれたこと～



のぶ とも なお こ
講師 信友直子さん

テレビディレクター、映画監督。1961年広島県呉市生まれ、1986年にテレビ制作会社に入社。ドキュメンタリー番組制作で数々の賞を受賞。2018年に『ぼけますから、よろしくお願ひします。』で長編監督デビュー。全国99劇場10万人を動員する大ヒットとなる。現在、くれ観光大使と、呉市総合計画審議会委員も務める。

映画監督である信友監督本人から、大切な人が認知症になった時の少し気が楽になる上手なつきあい方、看取り体験から、終活や延命治療、人生会議にかけての話を実体験から語っていただきます。

日時 令和7年 1月25日(土)

13時から16時30分まで
(12時00分より受付開始)

会場 山陽新聞社本社ビル1階
さん太ホール(岡山市北区柳町二丁目1-1)

- ・入場は当日受付、先着順です。会場の定員(278人)を超えるときは入場をおことわりする場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・マスクの着用にご協力ください。
- ・日程・内容については、諸般の事情により変更となる場合があります。



公共交通機関のご案内
・JR岡山駅より徒歩15分(市役所筋を南へ下る)
・JR岡山駅より路線バスにて「山陽新聞社前」下車すぐ

プログラム(予定)		
開	会	13:00～
映	画上映	13:10～
休	憩	14:51～
講	演	15:05～
閉	会	16:05～

ふれあい交流ショップ
福祉関係のお店が素敵なグッズやお菓子などを販売します。

主催 岡山市・岡山市教育委員会 後援 岡山県 協賛 岡山人権啓発活動地域ネットワーク協議会

お問い合わせ先 岡山市 市民協働局 人権推進課
電話▶086-803-1070(直通) ファクス▶086-225-1699 Eメール▶jinkensuishin@city.okayama.lg.jp